

IAUD Newsletter vol.8 第2号(2015年5月号)

| | |
|--|---|
| 1.第1回UD検定・中級 検定試験実施報告 | 1 |
| 2.住空間PJ「みんなにうれしいカタチ展 日本発ユニバーサルデザイン 2015」視察 | 5 |
| 3.IAUD アワード 2015 募集開始 | 7 |
| 4.IAUD 6月の予定 | 8 |



UD推進に必要な知識や考え方を身に付けるために 第1回UD検定・中級 検定試験実施報告

IAUDでは、ユニヴァーサルデザイン(UD)の更なる普及と実現をめざす一環として、2012年よりユニヴァーサルデザイン検定(以下UD検定)をスタートし、これまで6回のUD検定・初級を実施してまいりました。

そしてこの度、「第1回UD検定・中級」を3月18日(水)にNEC本社ビル・B1F多目的ホール(東京・芝)で実施し、IAUD会員企業の方々など40名が受験しました。

今号のNewsletterでは、試験実施の様子を検定委員会副委員長の奥田高子氏に報告していただきます。



「第1回UD検定・中級」試験会場の様子

公式テキストブックを読んでUD検定・中級に挑戦

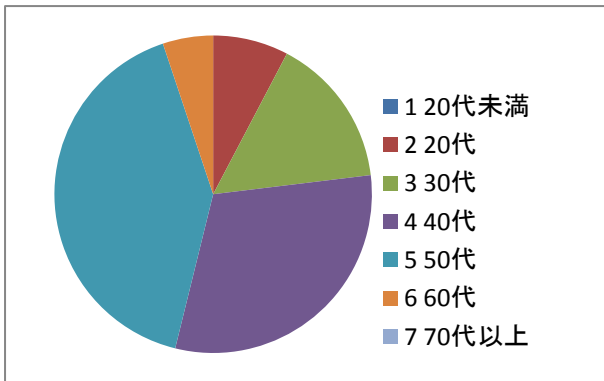
UD検定・中級は、企業や自治体などでサービスの提供やものづくり、街づくりなどに携わっているの方々を対象にしており、UDを推進するにあたって必要な知識や考え方を身につけることができます。

実施にあたり、2014年11月6日にはUD検定・中級公式テキストブック「知る、わかる、ユニヴァーサルデザイン」を発刊しました。また、第1回目となる今回は、IAUD会員および初級認定者約500名を対象にご案内しました。

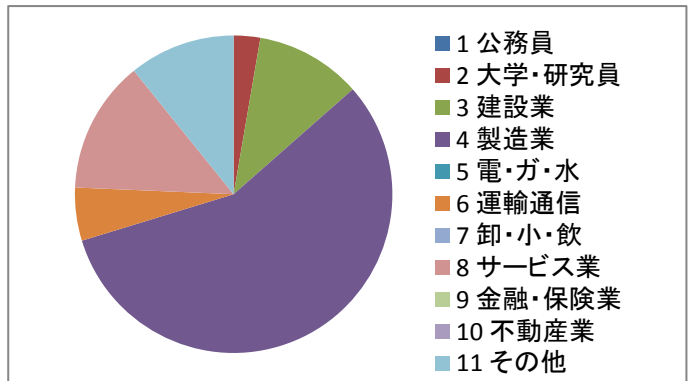
これまで実施したUD検定・初級は講習会と検定試験の同時開催でしたが、今回のUD検定・中級は検定試験のみの実施とし、受験者には事前に公式テキストをご購入いただき、熟読の上ご参加いただきました。

受験された40名のほとんどがIAUD会員企業の方々で、次頁の図のとおり40、50代の方が70%、職種も製造業の方が53%となりました。

すでに企業の中でUDを推進している方や、UD関連商品の開発に携わってきた方の受験が多かったことが伺えます。



受験者の年代内訳



受験者の職業・職種内訳

合格者は 37 名、合格率 93% !

検定試験は 2 時間で 140 問のマークシート方式ペーパーテストで行いました。試験開始前は、公式テキストブックを読み直す受験者の方々の真剣な姿が見られました。

合格基準は UD 検定・初級同様、正答率 70%以上としました。UD の領域を幅広く網羅した問題で、難しさを感じられた方が多かったにも関わらず、37 名が合格され合格率は 93%に達しました。

合格者全員に「UD 検定・中級 認定証」を発行しました。

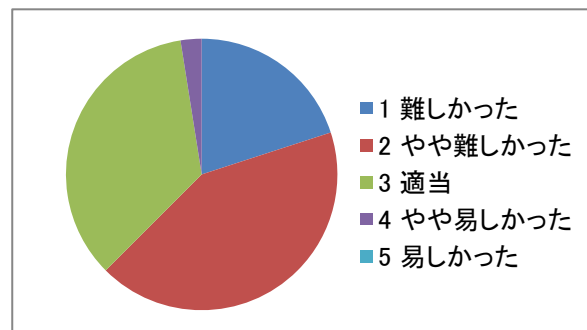


UD 検定・中級 認定証

中級認定の活用は「所属企業での活動」「名刺に記載」「地域のヴォランティア」

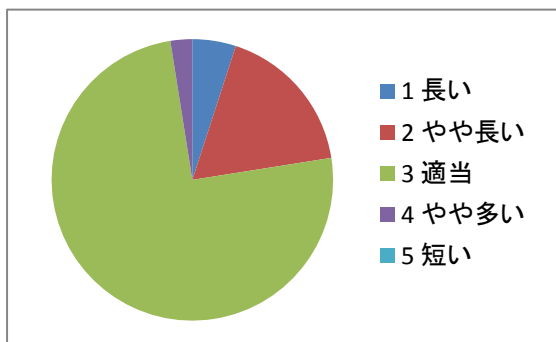
検定試験後に受験者全員を対象にアンケートへのご協力をしていただきました。

検定試験の難易度については、「難しかった」「やや難しかった」とする方が 63%を占め、「適当」の 35%を大きく上回りました。

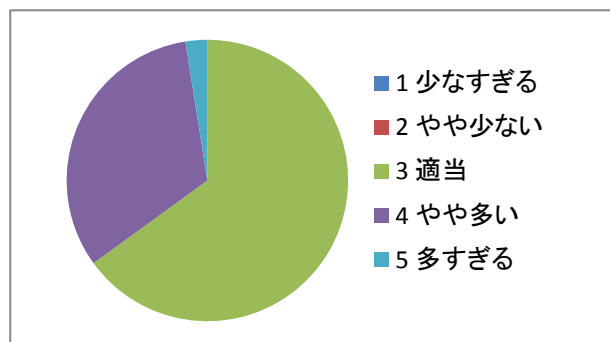


検定試験の難易度

また、2 時間の試験時間については「適当」とする方が 75%、140 問の問題量については「やや多い」とする方が 33%あった一方、「適当」とする方が 65%を占めました。



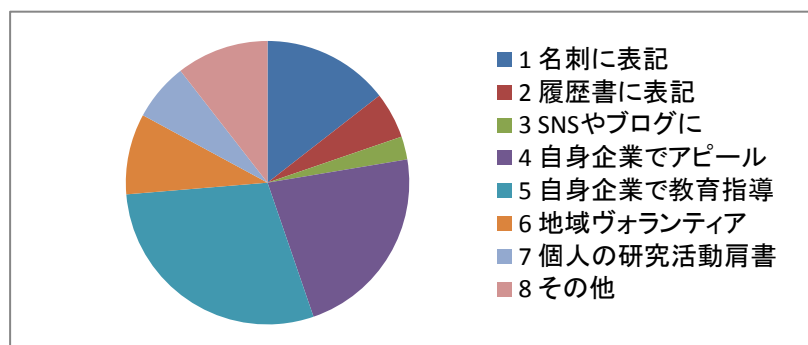
検定試験の時間



検定試験の問題量 140 問

さらに、UD 検定・中級認定の活用方法に関しては、「所属企業での教育指導」「所属企業でアピール」が上位を占めたほか、「名刺に表記」という方も 28%となりました。

また、「地域のヴォランティア」に活かしたい方も 18%と、街づくりへの広がり期待されます。



UD 検定・中級認定の活用方法

なお、これまでUD 検定に合格され各級に認定された方は、該当級による名刺記載が可能です。

UD 普及の一助にもなりますので、認定者の方は積極的にご活用いただければと思います。名刺への記載方法については以下をご覧ください。

<http://www.iaud.net/news-f/archives/1503/26-000000.php>

第 2 回 UD 検定・中級 事前講習会および検定試験の実施決定

第 1 回 UD 検定・中級実施の好評を受け、一般の皆様を対象にした第 2 回 UD 検定・中級 検定試験を 7 月 8 日（水）に芝浦工業大学芝浦キャンパス（東京・芝浦）で実施します。

今回は事前の講習会を、6 月 23 日（火）にコクヨ株式会社東京品川オフィス（東京・品川）で実施いたします。

これは、アンケート結果で 75%の方から事前講習会が「役に立つ」との期待が寄せられたことから実現したものです。

事前講習会では、公式テキスト各章の検定ポイント解説を中心に、UD に関する様々な知識や情報をテキスト執筆者が解説します。

さらに、検定試験対策の他にも、最新 UD 学習の一環としてコクヨ株式会社の UD 事例紹介を行います。

UD 検定・中級は企業でものづくりに携わられる方や、行政で UD を推進される方に役立ちます。また、UD 検定・初級資格認定者でなくても受講・受検できますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

UD 検定・中級 事前講習会及び検定試験の詳細は以下をご参照ください。

<http://www.iaud.net/event/archives/1505/19-200000.php>

UD 検定・中級受験には公式テキストブックを必読

UD 検定・中級受験にあたり、公式テキストブックをご活用ください。

UDに関する文献は数多くありますが、本書は1冊でUDの幅広い分野を網羅しているのが最大の特長です。

また、本書は各専門分野の第一線で活躍する方々に執筆いただき、具体的な事例を含め、広範なUDの知見をまとめました。

UD 検定・中級の試験問題は本書に準拠して出題されます。

また、検定受験者だけでなく、すべての人にとって使いやすい商品やサービスを提供したい、住みやすいまちづくりをめざしたい、とお考えの方々にも非常に役立ちます。UDに関心のある方は、ぜひ本書をご利用ください。

公式テキストブックの詳細は以下をご参照ください。

<http://www.iaud.net/dayori-f/archives/1410/14-00000.php>



UD 検定・中級公式テキストブック

UD 検定・上級も検討中

現在検討中のUD 検定・上級の方向性について、アンケート結果では中級と同様、「幅広い分野」での実施と「特定領域の掘り下げ」とに分かれました。

また、検定形式については「UD実績の評価」を望む声が53%を占め、「論文審査」の30%を上回りました。

今後、会員企業のみなさまや有識者の方々のご意見も伺いつつ、東京でオリンピック・パラリンピックが開催される頃までには実施したいと考えております。

なお、第2回UD 検定・中級 事前講習会および検定試験に引き続き、2015年9月11日(金)には第7回UD 検定・初級 講習会 & 検定試験を芝浦工業大学 芝浦キャンパス(東京・芝浦)で実施いたします。

第7回UD 検定・初級 講習会 & 検定試験の詳細は以下をご覧ください。

<http://www.iaud.net/event/archives/1505/19-100000.php>

お詫び:

第1回UD 検定・中級開始後に問題の誤りがみつかりました。

試験途中に訂正をさせていただく事態となり、プロジェクターで訂正が表示されるまで時間がかり、耳の不自由な方からフェアではないとのご指摘をいただきました。

UD 検定の主催者としてあってはならないことです。ここに改めて、不手際をお詫びします

IAUD の活動内容も紹介

住空間PJ 活動報告:「みんなにうれしいカタチ展 日本発 UD 2015」視察



「みんなにうれしいカタチ展」会場

IAUD が協力した展示会「みんなにうれしいカタチ展 日本発ユニバーサルデザイン 2015」が、3月3日(火)から5月24日(日)まで印刷博物館 P&P ギャラリー(東京・文京区)で開催されました。

本展は UD から見た問題解決の手法を探り、UD の今とこれからを再考するもので、IAUD から活動を紹介したパネルを展示しました。

この展示会を5月8日(金)に住空間プロジェクトのメンバー7人が見学しました。当日の様子を同PJ メンバーの阿部郁雄氏に報告していただきます。

UD の意図と意義を探る

はじめに、印刷博物館のある凸版印刷(株)小石川ビルショールームに展示してあるグループ企業で手掛けた UD 商材や先進的な取り組みについて、同社情報コミュニケーション事業本部販売促進部課長の横山克巳氏からご説明いただきました。

その後、展示会を視察しました。同社トッパンアイデアセンター課長の松澤由紀子氏、トッパンエディトリアルコミュニケーションズ(株)の醍醐利明氏から展示のご紹介、ご説明をいただきました。

この展示会は5つのゾーンに分けて展示してあります。1つ目のゾーンには、展示会の概要とともに、UD に関するいろいろなメッセージが発信されており、そのメッセージの一つ一つが、一つの気づきになるように工夫されていました。

これは、『「みんなにうれしい」ってどういうこと?』というテーマで、UD の意図や意義を開発者などの言葉から探っていくことを目指しています。

UD が必要な状況を体感

2つ目のゾーンには、右写真のように体感型コーナーが設けられています。これは、どんな時、どんな状況でUDが必要となるのか、誰にでも起こりうる困難なシチュエーションを体感していただくものです。

色々な状況を体験することで、課題や不便を発見するように工夫されています。そして、他人と共通の体験を通じて、感想や意見など交換できる良い機会になるように思えました。



体感型コーナー

IAUD の活動を紹介したパネルも展示



UD の基礎知識を紹介

3つの目ゾーンは、UD の定義、背景、考え方について視点を整理し、基礎知識を紹介するコーナーになっています。

例えば、左写真のように多くの言語で挨拶の言葉を表示しており、実際に私たちが理解できる言語の少なさに改めて納得いたしました。

また、複数のブースには IAUD が取り組んでいる UD の普及活動を紹介したパネルも展示されており、これまでの成果を確認することができました。

UD 視点の製品を展示

次のゾーンでは「みんなにうれしいカタチ」として、様々な企業や団体が UD の視点でこれまで開発した具体的な製品を、課題解決製品として展示しています。

さらに、「みらいにうれしいカタチ」として、今後高まるニーズや期待される技術や事例を紹介しています。作業をサポートする機器や ATM など、自社製品にこだわらない展示がされていたのが印象的でした。

このような取り組みを行った背景として、梱包材など産業資材の分野でも UD を付加させる要求が高まってきていることがあります。

従来から手掛けていた消費財向けのパッケージは言うに及ばず、製品として組み立てられる前の部品を梱包する箱や、極めて精密な部品を安全に運ぶための袋など、商品が私たち消費者に届く以前の段階で求められる梱包材が相当量あります。これらの梱包材は、見栄えの良いデザインや美しいパッケージではなく、機能性に重きがおかれ、求めるものが全く異なるものでした。そして、最近になって UD など付加させる要求が高まっており、多岐な商品、製品の展示になったとのことでした。



多様な UD 製品を展示

様々な気づきを与えてくれた展示会

展示では、独立行政法人産業技術総合研究所の持丸正明氏のお言葉をご紹介いただきました。それは、UD の有り方の一つとして、「先進国の日本が、同じような問題を抱えている世界のマーケットに対して日本発の価値を伝えていくことが重要」という大きな指針でした。

また、多くの企業や団体による製品提供により、今後の UD の具体的な有り方についても示唆が多く、住空間を中心とした活動を行ってきた我々にとっても、様々な気づきを与えてくれた展示会でした。

その後開催いたしました定例会においても活発な議論となったことは言うまでもなく、有意義な視察となりました。(了)



一人でも多くの方が快適で暮らしやすい UD 社会実現を推進 「IAUD アワード 2015」募集開始！

IAUD は IAUD アワード 2015 の募集を開始いたしました。

IAUD アワードは、一人でも多くの方が快適で暮らしやすい UD 社会の実現に向けて、特に顕著な活動の実践や提案を行っている団体・個人を表彰します。

審査委員会が UD において一定のレベルを満たしていると判断したものに対して、「IAUD アワード」を授与いたします。

また、IAUD アワードを授与された応募対象は、「IAUD アワード」マークの使用が可能となり、UD の普及啓発にご活用いただけます。応募締切は 7 月 17 日(金)です。皆様の応募をお待ちしております。

※詳細は下記 URL をご参照ください。

<http://www.iaud.net/event/archives/1504/20-000000.php>

※昨年度に実施した「IAUD アワード 2014」受賞内容は下記をご参照ください。

<http://www.iaud.net/dayori-f/archives/1411/12-000000.php>



IAUD アワード 2014 表彰式の様子



IAUD 6 月の予定

5 月 28 日現在

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|--|--|--------------------------------------|---------------------------------------|---|----|----|
| 1 | 2 14:00～ ワークスタイル PJ @IAUD サロン | 3 10:00～ 余暇の UDPJ @IAUD サロン | 4 15:00～ メディア UDPJ @IAUD サロン | 5 15:00～ 情報交流センター @IAUD サロン | 6 | 7 |
| 8 | 9 13:00～ 検定委員会 @IAUD サロン | 10 | 11 | 12 15:00～ 理事会 @セルリアンタワー 東急ホテル | 13 | 14 |
| 15 13:00～ 手話用語 SWG @IAUD サロン | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 14:00～ 衣の UDPJ @IAUD サロン | 26 13:30～ 標準化 WG @IAUD サロン | 27 | 28 |
| 29 16:00～ 評議員会 @セルリアン タワー東急ホテル | 30 | | | | | |

Newsletter では、誌面を会員の皆さまの UD に関わる情報交換の場と位置づけています。
 ぜひ、会員企業の UD 商品開発事例や PJ/WG の活動成果事例の情報、国内外の UD 関連
 イベント、シンポジウムなどの開催情報をお寄せ下さい。

次号は 2015 年 6 月発行予定

特集: HCD-Net フォーラム 2015 参加報告(予定)

無断転載禁止

IAUD 情報交流センター (IAUD サロン) :
 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-25-9 トヨタ八丁堀ビル 4 階
 電話 : 03-5541-5846 FAX : 03-5541-5847 e-mail : salon@iaud.net